

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイパーチェ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 23日		～ 2025年 2月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年 1月 23日		～ 2026年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域交流に力をいれて、近所の方にハロウィンやクリスマスのイベントでのスタンプラリーやクイズに参加していただきパーチェの子どもと地域の方とのコミュニケーションをとって、支援につなげている	保護者やその兄弟を呼び込んで、音楽会や図書館でのイベントに参加してもらい普段会えない人たちの交流を図る	外食支援でフードコートに行く体験や、いろんな公園に行き身体を動かし、夏場はパーチェでプールを設営して水を楽しむ取り組みを行っている
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内が狭く、クールダウンするための専門の部屋がない(専門の部屋はないが確保できるスペースはある)	狭いため、運動や活動を区切る区画がない	床にテープを貼り、座って話を聞く場所を示して視覚的にわかりやすい工夫をしている
2			
3			

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイパーチェ				公表日	2026/2/27
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	定員数に見合ったスペースを確保できている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	常にそこを意識して配置している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	わかりやすい絵や文字で視覚的に理解しやすいよう構造化している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	ボール遊びや玩具遊びのスペースを分けている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	不穏になった時に、他の子と離れてクールダウンして落ち着くスペースがある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	ミーティングで目標設定と振り返りを定期的に行い広く職員が参画している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価表やヒアリング時に意向をうかがっている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	管理者が職員の意見を聞く機会をもうけている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	他事業所も交えた区の研修に参加している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	児発管を中心に作成されている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	作成の際に職員間で意見を出し合い検討している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	情報を共有して支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	それらすべての項目に支援内容を設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	この日は〇〇担当というようにスケジュールを振って決めている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	立案が難しいときは他職員に聞きサポートする体制が出来ている	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	その子の特性に合わせて支援計画を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝の打ち合わせで毎日行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		振り返りは、当日でなく翌日に行っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	記録をもとに、支援を振り返っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	モニタリングして継続、修正の見直しをしている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	管理者やよく理解した職員が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	電話や書類で情報共有をしている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0	電話で連絡を取り合い連携を図っている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	1		地域の子と公園でふれあう機会はあるが幼稚園等での交流はあまりない
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	面談や帰りの送迎の際に保護者と話す機会を設けている		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	あらかじめ説明している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	子どもや保護者の意思を尊重して行っている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	説明、同意を得て行っている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	相談に応じてアドバイスや支援を行っている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	イベントや外食支援等の活動、室内活動を定期的にブログに載せている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	聴覚障害のある保護者に送迎時に文字で伝えている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	イベントに近隣の方を誘い、地域交流を深めている	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的に訓練を徹底している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	保護者から情報を共有している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	アレルギーのある子は表にして職員がわかるようにしている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット用のノートに記録していつでも見れるようにしている	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	研修の会を定期的におこない防止の意識を高めている		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	保護者に説明して同意を得て、他害発生時に対応している		